

# 1000年 刻みの 日時計 牧野村物語

映画

製作:小川プロダクション

●1987年作品●カラー●3時間42分●

纏文山の神、稲太陽……

蔵王山麓にひらけた村と村人の物語。

四五〇〇年の時をゆつくりと刻む。

映画の肉体にのちの時間を刻む。

トキメントする

映画のマンダラです。

物語と科学が交歓して、

稲も星もまぶしい。

カミエントの宴会になる。

1987年12月1日(火)より  
ロードショー公開!  
吉祥寺ジャヴ50



製作:小川プロダクション  
●1987年作品●カラー●3時間42分●

1000年刻みの  
日時計  
牧野村物語

1987年12月1日[火]より  
ロードショー公開!

吉祥寺ジャヴ50  
(tel. 0422-22-6631)

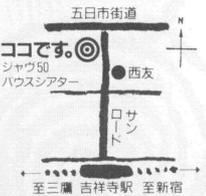
【キャスト】

牧野村の人々  
堀切観音物語  
与:土方巽  
もん二役:宮下順子  
なかなか  
五巴神社の由米  
奉行:田村高廣  
河原崎長一郎  
石橋建司  
長老:島田正吾



【スタッフ】  
製作:伏屋博雄  
監督:小川紳介  
助監督:飯塚俊男  
演出助手:見角貞利  
広瀬里美  
白木芳弘  
音楽:富樫雅彦  
撮影:田村正毅  
撮影助手:林 鉄次  
野坂治雄  
三森葉子  
照明:佐藤 謙  
録音:久保田幸雄  
菊池信之  
美術:辰巳四郎  
タイトル:茂木俊介  
スチール:内藤正敏  
進行:白石洋子  
畑中宏子

前売券:1200円  
当日券:1500円

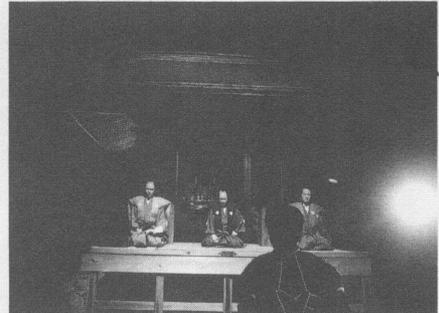


●チケットぴあ、チケットセゾン、各プレイガイドで発売中です。  
●12月31日の6:40からの上映と1月1日・2日の全日は休館になります。  
●上映はジャヴ50を中心に行いますが、時にはハウスシアターに転換するなど変幻自在に行います。(ジャヴ50とハウスシアターは同じ場所にあります)

【上映時間】……入替制

月…金	2:35(1:00)	6:40(6:10)	
土・日・祝日	10:30	2:35	6:40

★注=かつこ内の時間は1月4日以降の上映時間です。



時の厚み  
映画の再生  
山根貞男

映画評論家

小川紳介の「1000年刻みの日時計」牧野村物語は、わたしが最近、もっとも映画的な勢いを感じた作品であるといえ、奇異に思われようか。

たしかにこれは地味な映画で、稲づくりにや村に伝わる話が淡々と語られ、べつに元氣印とは無縁につくられている。なのにしろ三時間四十分余の長さゆえ、退屈する向きもあるかもしれない。けれどもこの映画では、そうした見かけの底から映画づくりにかかれた十年という歳月が、あるいは小川プロの人々が現地に暮らしてはじめてからの十三年という歳月が、じんわりと勢いになってにじみ出し、胸に迫ってくる。時間の厚みが映画的な勢いに転換されているのである。

具体的にいえば、記録映画と劇映画との区分をふわりと踏み越えてしまうところから、映画の受精が細密に記録され、ついで水田の水はけ問題が稲作科学ドキュメントふうにつづられる。前作「ニッポン国古屋敷村」を見た者なら、ああ、あのつづきだな、と思う。ところがつきには、土方巽と宮下順子が登場し、村の伝承譚を演じてゆく。どう見ても、オールロケの劇映画である。ついで、農民が画面に現われ、カメラに向かって亡父が畑でふしぎなものを振り出した話をはじめたかと思うや、つぎの画面では、その農民と妻が父母に扮して、畑へ行ってふしぎなものを振り出したくりを再現してみせる。ここくんだり、記録映画と呼ぶべきか、劇映画というべきか。そのどちらでもないし、たんなる折衷でもむろんない。

端的にいって、そのくだりにあるのはやらせのおもしろさである。さらにいうなら、そこでは、語る事が騙ることへ一気に変転してしまっている。その変転

の呼吸、勢いの、なんとすばらしく映画的なことか。語る=騙る勢いが、記録映画であるか劇映画であるかなどという区分けを、ふわりと踏み越え、無効にしてしまう。クライマックスは昔の農民一揆が語られるくだり、田村高廣と河原崎長一郎と石橋建司が時代劇として一揆を裁く代官たちを演じるいっぽう、カメラが切り変えされるだけで、村の人々が先祖の一揆衆を村芝居しながらに演じてみせる、やらせの空間が出現する。その自在な語り=騙りの、なんと感動的なことか。縄文遺跡の発掘のくだりにも、老婆の一人語りの部分にも、同じ勢いがみなぎっている。わたしはこの映画を見て、宴会映画ということばをしきりに思い出した。いつだったか、森崎東にロング・インタビューをしたときに出てきた宴会映画のイメージ、宴会としての映画をさながら宴会をやるようにつくってゆくというイメージ、である。

●小川プロ製作 [1982]

【ニッポン国 古屋敷村】

特別上映

●月曜から金曜までAM10:40より上映  
●入場料:1000円  
●吉祥寺ジャヴ50 (tel. 0422-22-6631)  
●1987年12月1日[火]より  
12月29日[火]まで



中間い合わせ……  
小川プロダクション tel.03-392-6331  
東京都杉並区上荻2-19-2シャトーサンライズ203  
ジャヴ50 tel.0422-22-6631  
東京都武蔵野市吉祥寺本町1-11-23  
ハウスシアター内

写真撮影:内藤正敏 コーディネーション:田井肇 デザイン:鈴木一雄 絵本文様 写植:プロダクション 印刷:(株)フライン